



平成 29 年 9 月 8 日

各 位

会 社 名 トラストホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 喜久田 匡宏
(コード番号：3286 東証マザーズ・福証Q-Board)
問合せ先 専務取締役 矢羽田 弘
(TEL. 0 9 2 - 4 3 7 - 8 9 4 4)

(訂正) 「平成 28 年 6 月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、平成 28 年 8 月 10 日に開示いたしました「平成 28 年 6 月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

記

訂正内容と理由

「平成 28 年 6 月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」について、平成 29 年 6 月期決算作業の過程において、「その他」の区分のセグメントにて記載しておりました「メディカルサービス事業」は報告セグメントに該当することが判明したため、記載内容の一部訂正を行うものであります。

なお、訂正箇所は _____ を付しております。

【訂正箇所】添付資料 3 ページ

1. 経営成績・財政状態に関する分析

(1) 経営成績に関する分析

<訂正前>

●その他事業

広告事業、警備事業、メディカルサービス事業等の その他事業につきましては 概ね堅調に推移いたしました。

以上の結果、売上高 373,100 千円 (前年同期比 37.6% 増)、営業利益 19,185 千円 (前年同期は 4,495 千円の営業損失) となりました。

②次連結会計年度の見通し

次連結会計年度につきましては、駐車場事業におきましては、当連結会計年度において実施いたしました既存駐車場の活性化及び不採算駐車場のリストラ等を継続して行ってまいります。また、新規駐車場の開発営業に最優先で取り組み、事業規模拡大に寄与できる駐車場の確保を図ってまいります。

不動産等事業のマンション販売部門におきましては、新築マンション 2 棟「トラスト前原中央ネクサージュⅡ (福岡県糸島市、52 戸、平成 29 年 2 月竣工予定)」、「トラストネクサス新椋野Ⅱ (山口県下関市、60 戸、平成 29 年 4 月竣工予定)」の竣工を予定しております。既竣工物件 40 戸と合わせ、販売代理会社との連携強化を図り、販売を促進してまいります。

また、「トラストパートナーズ」販売部門におきましては、「トラストパートナーズ第 5 号」の完売を計画しております。

ウォーター事業におきましては、今後のグループの収益事業に拡大、発展させるために、引き続き広告宣伝費等を積極的に投入し、固定客の増加を図ってまいります。

当連結会計年度において損失が出ておりますアミューズメント事業及びRV事業におきましては、サービス力の向上、販売体制の構築等を早急に実施することにより収益の確保を図ってまいります。

その他事業におきましては、広告事業、警備事業、メディカルサービス事業 等の更なる収益向上を目指し、事業展開を行ってまいります。

以上のことから、次連結会計年度の業績につきましては、売上高 20,000,000 千円 (前年同期比 42.6% 増)、営業利益 1,160,000 千円 (前年同期比 295.8% 増)、経常利益 850,000 千円 (前年同期は 11,173 千円の経常損失)、親会社株主に帰属する当期純利益 420,000 千円 (前年同期は 113,366 千円の親会社株主に帰属する当期純損失) を見込んでおります。

<訂正後>

●メディカルサービス事業

メディカルサービス事業につきましては、「介護老人保健施設みやこ」及び平成27年11月に開院いたしました「福岡信和病院」の賃貸収入等により概ね堅調に推移いたしました。

以上の結果、売上高189,188千円（前年同期比192.4%増）、営業利益55,486千円（前年同期比882.5%増）となりました。

●その他事業

広告事業、警備事業等のその他事業につきましては早期収益化に向け営業活動に注力いたしました。

以上の結果、売上高183,911千円（前年同期比10.9%減）、営業損失36,300千円（前年同期は10,142千円の営業損失）となりました。

②次連結会計年度の見通し

次連結会計年度につきましては、駐車場事業におきましては、当連結会計年度において実施いたしました既存駐車場の活性化及び不採算駐車場のリストラ等を継続して行ってまいります。また、新規駐車場の開発営業に最優先で取り組み、事業規模拡大に寄与できる駐車場の確保を図ってまいります。

不動産等事業のマンション販売部門におきましては、新築マンション2棟「トラスト前原中央ネクサージュⅡ（福岡県糸島市、52戸、平成29年2月竣工予定）」、「トラストネクサス新緑野Ⅱ（山口県下関市、60戸、平成29年4月竣工予定）」の竣工を予定しております。既竣工物件40戸と合わせ、販売代理会社との連携強化を図り、販売を促進してまいります。

また、「トラストパートナーズ」販売部門におきましては、「トラストパートナーズ第5号」の完売を計画しております。

ウォーター事業におきましては、今後のグループの収益事業に拡大、発展させるために、引き続き広告宣伝費等を積極的に投入し、固定客の増加を図ってまいります。

当連結会計年度において損失が出ておりますアミューズメント事業及びRV事業におきましては、サービス力の向上、販売体制の構築等を早急に実施することにより収益の確保を図ってまいります。

メディカルサービス事業におきましては、既存の賃貸施設であります「介護老人保健施設みやこ」及び「福岡信和病院」からの賃貸収入を中心に、安定した収益を見込んでおります。

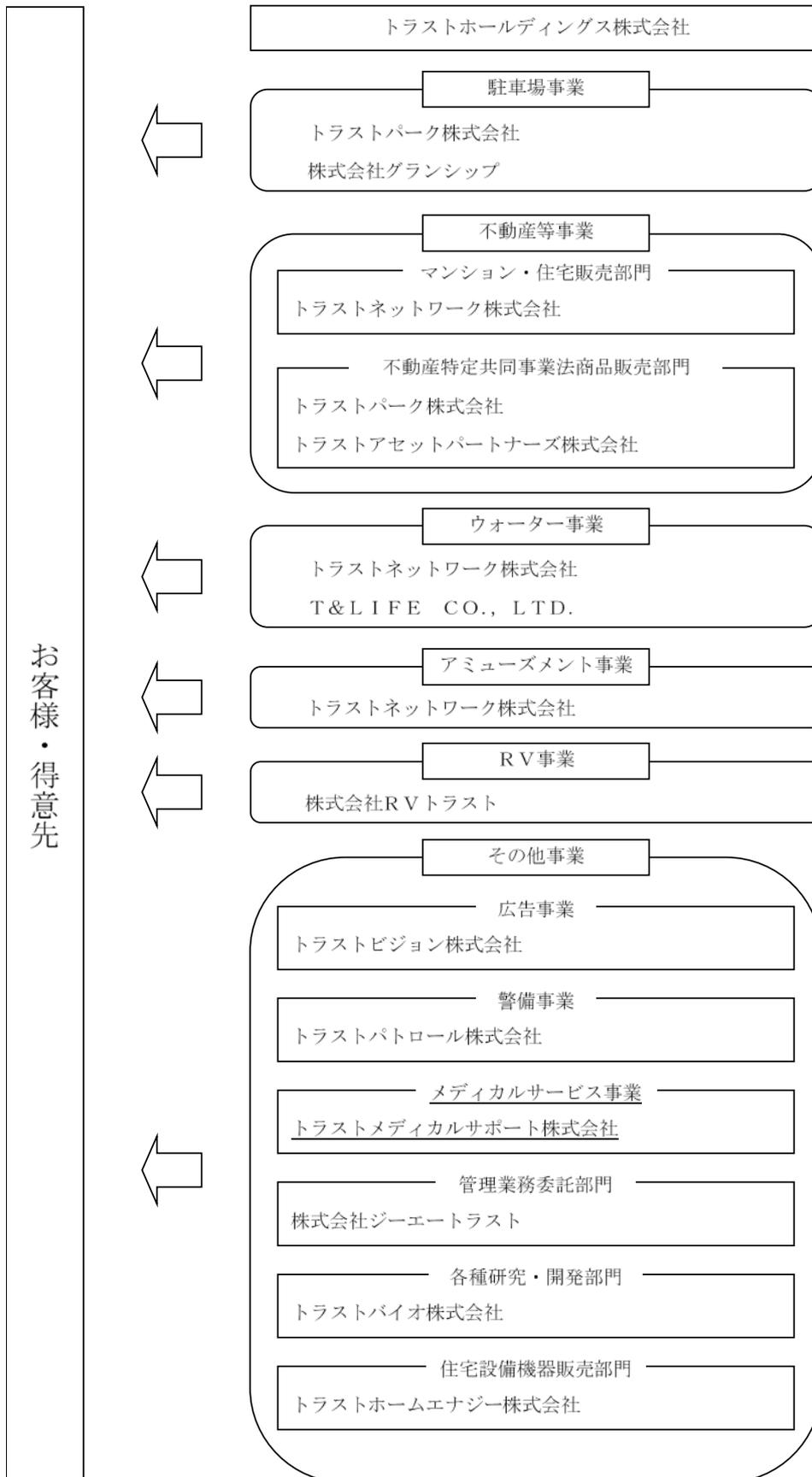
その他事業におきましては、広告事業、警備事業等の更なる収益向上を目指し、事業展開を行ってまいります。

以上のことから、次連結会計年度の業績につきましては、売上高20,000,000千円（前年同期比42.6%増）、営業利益1,160,000千円（前年同期比295.8%増）、経常利益850,000千円（前年同期は11,173千円の経常損失）、親会社株主に帰属する当期純利益420,000千円（前年同期は113,366千円の親会社株主に帰属する当期純損失）を見込んでおります。

2. 企業集団の状況

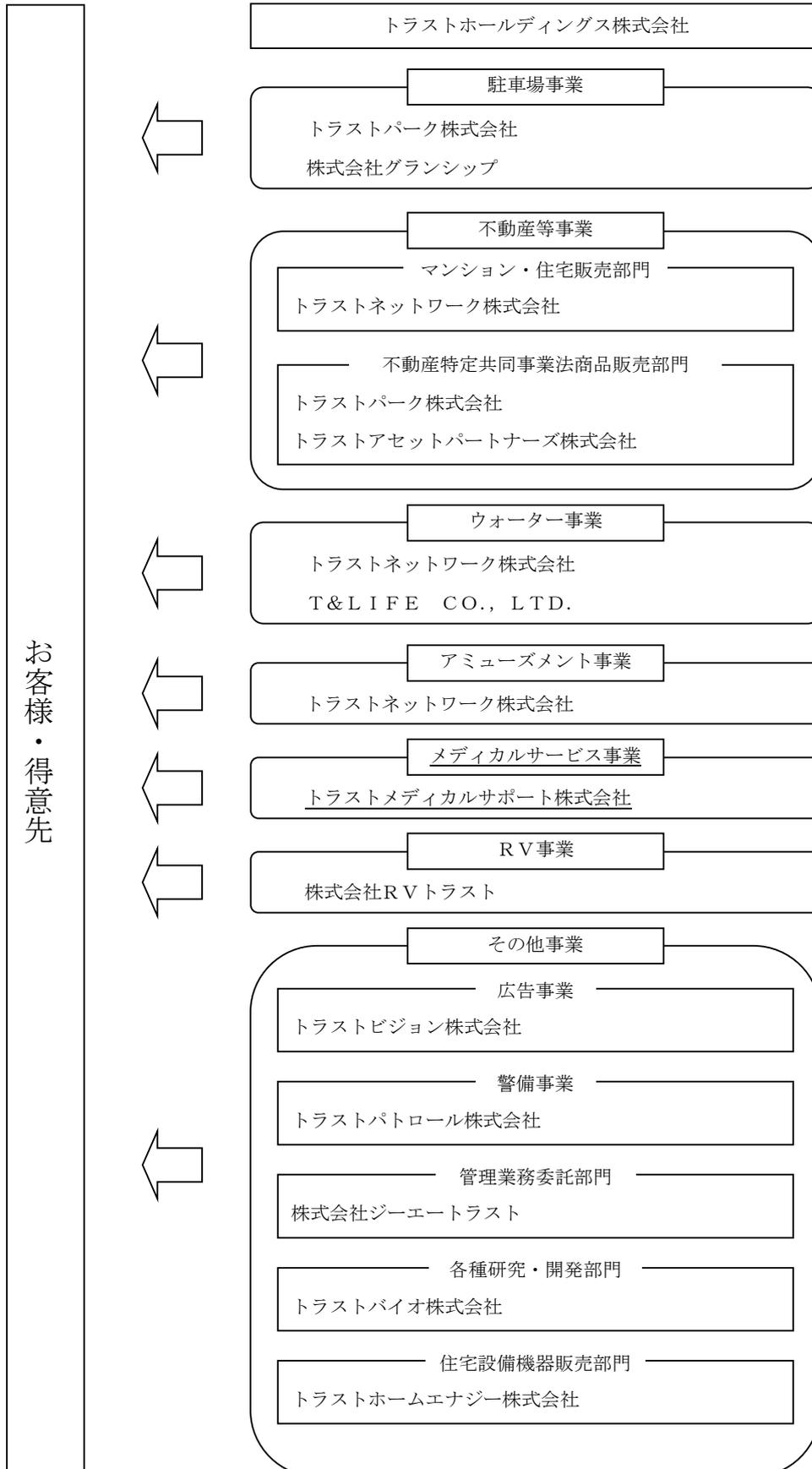
<訂正前>

当社グループは、当社及び連結子会社12社で構成されており、駐車場事業、不動産等事業、ウォーター事業、アミューズメント事業、RV事業、その他事業を行っております。当社グループの事業に係る位置付け及びセグメントとの関連は、次の通りであります。



<訂正後>

当社グループは、当社及び連結子会社12社で構成されており、駐車場事業、不動産等事業、ウォーター事業、アミューズメント事業、メディカルサービス事業、RV事業、その他事業を行っております。当社グループの事業に係る位置付け及びセグメントとの関連は、次の通りであります。



<訂正前>

(5) RV事業について

連結子会社である株式会社RVトラストにて行うRV事業は、RV車等の開発、生産、販売を行っております。

(6) その他事業について

トラストビジョン株式会社においては、大型ビジョンの運営、テレビ番組の運営及び広告事業を行っております。また、トラストパトロール株式会社においては、駐車場事業に付随して発生する機械警備及びイベント・商業施設の常駐警備等の警備事業を行っております。さらに、トラストメディカルサポート株式会社においては医療機関への不動産賃貸や各種コンサルティング業務を行っており、安全・安心な「医療設備」を提供しております。

<訂正後>

(5) メディカルサービス事業について

連結子会社であるトラストメディカルサポート株式会社においては医療機関への不動産賃貸や各種コンサルティング業務を行っており、安全・安心な「医療設備」を提供しております。

(6) RV事業について

連結子会社である株式会社RVトラストにて行うRV事業は、RV車等の開発、生産、販売を行っております。

(7) その他事業について

トラストビジョン株式会社においては、大型ビジョンの運営、テレビ番組の運営及び広告事業を行っております。また、トラストパトロール株式会社においては、駐車場事業に付随して発生する機械警備及びイベント・商業施設の常駐警備等の警備事業を行っております。

【訂正箇所】添付資料 30ページ

5. 連結財務諸表

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等)

セグメント情報

<訂正前>

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社及び子会社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは持株会社体制の下、駐車場の運営及び駐車場の管理受託に関する業務を主とした「駐車場事業」と、マンション等の開発業務や不動産賃貸・仲介業務及び不動産特定共同事業法に基づく駐車場小口化商品の販売を主とした「不動産等事業」、また、水素水の製造、販売を主とした「ウォーター事業」、温浴施設、ゴルフ練習場の運営を主とした「アミューズメント事業」、RV車の製造、販売を主とした「RV事業」の5つを報告セグメントとしております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

当連結会計年度より、前連結会計年度において「その他」に含まれていた「RV事業」について金額的重要性が増したため、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前連結会計年度のセグメント情報については、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度（自 平成 26 年 7 月 1 日 至 平成 27 年 6 月 30 日）

（単位：千円）

	報告セグメント					計
	駐車場事業	不動産等事業	ウォーター 事業	アミューズ メント事業	R V事業	
売上高						
外部顧客への 売上高	6,780,133	3,728,183	1,190,234	626,884	—	<u>12,325,435</u>
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	3,599	25,267	934	1,098	—	30,900
計	6,783,732	3,753,451	1,191,168	627,982	—	<u>12,356,335</u>
セグメント利益 又は損失（△）	455,536	△4,827	△338,850	△75,962	—	<u>35,894</u>
セグメント資産	2,377,471	8,385,232	625,665	1,343,891	279,972	<u>13,012,233</u>
その他の項目						
減価償却費	342,430	67,460	15,983	93,336	—	<u>519,211</u>
のれん償却額	36,458	—	16,666	37,362	—	90,487
減損損失	49,280	—	—	—	—	49,280
有形固定資産及 び無形固定資産 の増加額	1,740,620	22,053	135,846	602,945	222,074	<u>2,723,540</u>

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸表 計上額 (注) 3
売上高				
外部顧客への 売上高	<u>271,086</u>	12,596,521	—	12,596,521
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	59,493	90,393	△90,393	—
計	<u>330,580</u>	12,686,915	△90,393	12,596,521
セグメント利益 又は損失（△）	<u>△4,495</u>	31,399	△38,809	△7,410
セグメント資産	<u>1,704,853</u>	14,717,087	2,417,709	17,134,796
その他の項目				
減価償却費	<u>38,112</u>	557,324	4,794	562,118
のれん償却額	938	91,426	—	91,426
減損損失	3,965	53,245	—	53,245
有形固定資産及 び無形固定資産 の増加額	<u>486,449</u>	3,209,989	51,641	3,261,631

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告事業、警備事業、メディアカルサービス事業を含んでおります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント利益 (単位：千円)

	当連結会計年度
セグメント間取引消去	318,638
全社費用(注)	△357,390
棚卸資産等の調整額	△57
合計	△38,809

(注) 全社費用の主なものは、当社(持株会社)運営に係る費用であります。

セグメント資産 (単位：千円)

	当連結会計年度
全社資産	2,465,196
セグメント間取引消去	△47,487
合計	2,417,709

3. セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業損失と調整を行っております。

4. 「注記事項(表示方法の変更)」に記載のとおり、表示方法の変更に伴う組替え後の数値を記載しております。

当連結会計年度(自平成27年7月1日至平成28年6月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント					
	駐車場事業	不動産等事業	ウォーター事業	アミューズメント事業	R V事業	計
売上高						
外部顧客への売上高	6,620,620	3,739,195	2,208,367	841,114	246,557	13,655,855
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,856	12,863	2,612	1,229	—	21,561
計	6,625,476	3,752,058	2,210,979	842,344	246,557	13,677,416
セグメント利益又は損失(△)	535,721	△204,317	103,186	△29,930	△129,136	275,523
セグメント資産	2,012,594	8,748,192	705,210	1,208,551	454,485	13,129,034
その他の項目						
減価償却費	299,729	55,226	25,112	125,959	27,148	533,176
のれん償却額	33,884	—	16,666	37,362	7,270	95,184
減損損失	12,884	—	—	9,218	—	22,102
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	166,381	604,959	90,878	1,288	49,163	912,671

	その他(注)1	合計	調整額(注)2	連結財務諸表計上額(注)3
売上高				
外部顧客への売上高	373,100	14,028,955	—	14,028,955
セグメント間の内部売上高又は振替高	92,947	114,509	△114,509	—
計	466,047	14,143,464	△114,509	14,028,955
セグメント利益又は損失(△)	19,185	294,708	△1,619	293,088
セグメント資産	2,665,069	15,794,103	2,445,937	18,240,040
その他の項目				
減価償却費	100,441	633,618	8,039	641,657
のれん償却額	2,065	97,249	—	97,249
減損損失	70	22,173	—	22,173
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	796,732	1,709,403	10,715	1,720,119

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告事業、警備事業、メディカルサービス事業等を含んでおります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント利益 (単位：千円)	
	当連結会計年度
セグメント間取引消去	387,125
全社費用 (注)	△388,681
棚卸資産等の調整額	△64
合計	△1,619

(注) 全社費用の主なものは、当社（持株会社）運営に係る費用であります。

セグメント資産 (単位：千円)	
	当連結会計年度
全社資産	2,555,591
セグメント間取引消去	△109,654
合計	2,445,937

3. セグメント利益又は損失（△）は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

<訂正後>

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社及び子会社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは持株会社体制の下、駐車場の運営及び駐車場の管理受託に関する業務を主とした「駐車場事業」と、マンション等の開発業務や不動産賃貸・仲介業務及び不動産特定共同事業法に基づく駐車場小口化商品の販売を主とした「不動産等事業」、また、水素水の製造、販売を主とした「ウォーター事業」、温浴施設、ゴルフ練習場の運営を主とした「アミューズメント事業」、医療機関への不動産賃貸や各種コンサルティング業務を主とした「メディカルサービス事業」、RV車の製造、販売を主とした「RV事業」の6つを報告セグメントとしております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

当連結会計年度より、前連結会計年度において「その他」に含まれていた「RV事業」について金額的重要性が増したため、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前連結会計年度のセグメント情報については、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度（自 平成 26 年 7 月 1 日 至 平成 27 年 6 月 30 日）

（単位：千円）

	報告セグメント						
	駐車場事業	不動産等事業	ウォーター 事業	アミューズ メント事業	メディカル サービス事業	RV事業	計
売上高							
外部顧客への 売上高	6,780,133	3,728,183	1,190,234	626,884	64,704	—	12,390,140
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	3,599	25,267	934	1,098	—	—	30,900
計	6,783,732	3,753,451	1,191,168	627,982	64,704	—	12,421,040
セグメント利益 又は損失（△）	455,536	△4,827	△338,850	△75,962	5,647	—	41,541
セグメント資産	2,377,471	8,385,232	625,665	1,343,891	1,636,013	279,972	14,648,246
その他の項目							
減価償却費	342,430	67,460	15,983	93,336	32,019	—	551,231
のれん償却額	36,458	—	16,666	37,362	—	—	90,487
減損損失	49,280	—	—	—	—	—	49,280
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	1,740,620	22,053	135,846	602,945	478,743	222,074	3,202,283

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸表 計上額 (注) 3
売上高				
外部顧客への 売上高	206,381	12,596,521	—	12,596,521
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	59,493	90,393	△90,393	—
計	265,875	12,686,915	△90,393	12,596,521
セグメント利益 又は損失（△）	△10,142	31,399	△38,809	△7,410
セグメント資産	68,840	14,717,087	2,417,709	17,134,796
その他の項目				
減価償却費	6,092	557,324	4,794	562,118
のれん償却額	938	91,426	—	91,426
減損損失	3,965	53,245	—	53,245
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	7,706	3,209,989	51,641	3,261,631

（注） 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告事業、警備事業等を含んでおります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント利益 (単位：千円)

	前連結会計年度
セグメント間取引消去	318,638
全社費用(注)	△357,390
棚卸資産等の調整額	△57
合計	△38,809

(注) 全社費用の主なものは、当社(持株会社)運営に係る費用であります。

セグメント資産 (単位：千円)

	前連結会計年度
全社資産	2,465,196
セグメント間取引消去	△47,487
合計	2,417,709

3. セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業損失と調整を行っております。

4. 「注記事項(表示方法の変更)」に記載のとおり、表示方法の変更に伴う組替え後の数値を記載しております。

当連結会計年度(自平成27年7月1日至平成28年6月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント						
	駐車場事業	不動産等事業	ウォーター事業	アミューズメント事業	メディカルサービス事業	RV事業	計
売上高							
外部顧客への売上高	6,620,620	3,739,195	2,208,367	841,114	189,188	246,557	13,845,043
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,856	12,863	2,612	1,229	—	—	21,561
計	6,625,476	3,752,058	2,210,979	842,344	189,188	246,557	13,866,605
セグメント利益又は損失(△)	535,721	△204,317	103,186	△29,930	55,486	△129,136	331,009
セグメント資産	2,012,594	8,748,192	705,210	1,208,551	2,602,958	454,485	15,731,992
その他の項目							
減価償却費	299,729	55,226	25,112	125,959	94,923	27,148	628,100
のれん償却額	33,884	—	16,666	37,362	—	7,270	95,184
減損損失	12,884	—	—	9,218	—	—	22,102
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	166,381	604,959	90,878	1,288	777,433	49,163	1,690,104

	その他(注)1	合計	調整額(注)2	連結財務諸表計上額(注)3
売上高				
外部顧客への売上高	183,911	14,028,955	—	14,028,955
セグメント間の内部売上高又は振替高	92,947	114,509	△114,509	—
計	276,859	14,143,464	△114,509	14,028,955
セグメント利益又は損失(△)	△36,300	294,708	△1,619	293,088
セグメント資産	62,110	15,794,103	2,445,937	18,240,040
その他の項目				
減価償却費	5,518	633,618	8,039	641,657
のれん償却額	2,065	97,249	—	97,249
減損損失	70	22,173	—	22,173
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	19,299	1,709,403	10,715	1,720,119

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告事業、警備事業等を含んでおります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント利益		(単位：千円)
	当連結会計年度	
セグメント間取引消去	387,125	
全社費用(注)	△388,681	
棚卸資産等の調整額	△64	
合計	△1,619	

(注) 全社費用の主なものは、当社(持株会社)運営に係る費用であります。

セグメント資産		(単位：千円)
	当連結会計年度	
全社資産	2,555,591	
セグメント間取引消去	△109,654	
合計	2,445,937	

3. セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。